

みずほCustomer Desk Report 2024/03/25号 (As of 2024/03/22)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	151.55
TKY 9:00AM	151.63	1.0863	164.59	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.86	1.0867	164.80	1.2661	0.6572
SYD-NY Low	151.00	1.0802	163.50	1.2676	0.6577
NY 5:00 PM	151.49	1.0809	163.69	1.2576	0.6511
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	39,475.90	▲ 305.47	日本2年債	0.2000%	0.0100%
NASDAQ	16,428.82	26.98	日本10年債	0.7400%	0.0000%
S&P	5,234.18	▲ 7.35	米国2年債	4.5934%	▲0.0472%
日経平均	40,888.43	72.77	米国5年債	4.1875%	▲0.0682%
TOPIX	2,813.22	17.01	米国10年債	4.2011%	▲0.0668%
シカゴ日経先物	40,605.00	▲ 240.00	独10年債	2.3195%	▲0.0770%
ロンドンFT	7,930.92	48.37	英10年債	3.9250%	▲0.0680%
DAX	18,205.94	26.69	豪10年債	4.0690%	▲0.0240%
ハンセン指数	16,499.47	▲ 363.63	USDJPY 1M Vol	7.86%	0.42%
上海総合	3,048.03	▲ 29.08	USDJPY 3M Vol	8.55%	0.30%
NY金	2,160.00	▲ 24.70	USDJPY 6M Vol	8.77%	0.40%
WTI	80.63	▲ 0.44	USDJPY 1M 25RR	▲0.58%	Yen Call Over
CRB指数	285.76	▲ 0.80	EURJPY 3M Vol	8.14%	0.50%
ドルインデックス	104.00	0.59	EURJPY 6M Vol	8.55%	0.52%

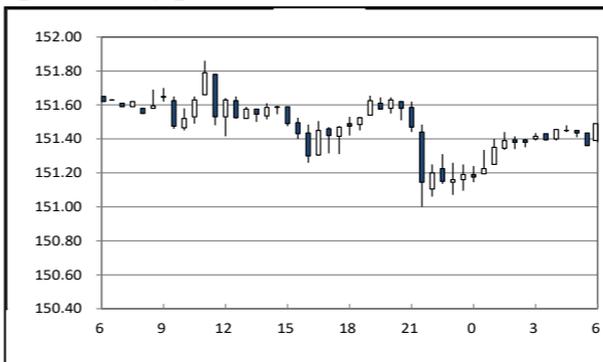
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月22日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	2月 2.8%/2.8%/3.2%	2.9%/2.8%/3.3%
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	2月 0.2%/-0.5%	-0.1%/-0.8%
	22:00	独 ナーゲル独連銀総裁発言	-	夏前に利下げを開始する確率は高まってきている

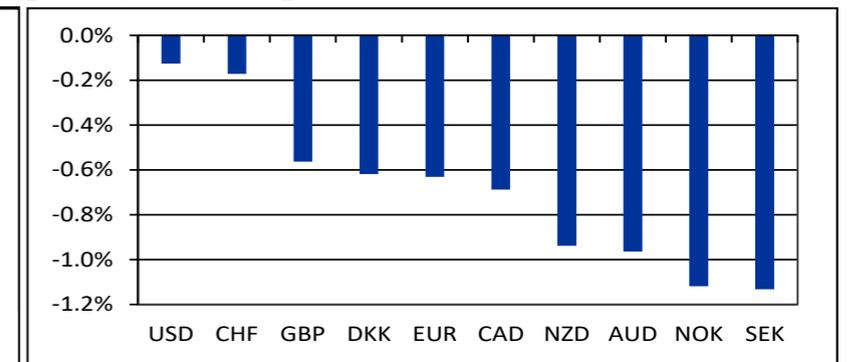
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月25日	08:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨	1月 -	-
	14:00	日 景気一致指数・確報	1月 -	110.2
	21:25	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 -0.34	-0.3
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 675k	661k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.70-151.90	1.0790-1.0830	163.00-164.00

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は引き続き年初来高値圏での攻防を予想。マイナス金利解除後も日銀による緩和的な金融環境が継続するとの見方が太宗となっている他、足元英・欧中銀の政策スタンス軟化や人民元の元安進行によってドル買いが強まっている(ドル指数は104.45まで上昇し、2/16ぶりの高水準をつけている)ことから、本日ドル円についても5・10日(ゴト一日)におけるドル需要を巻き込みながら上昇圧力優勢の展開をみておきたい。人民元は先週22日、対ドルで7.20レベルでキャップされていたオンショア人民元が、7.20を突破。その後も、中国人民銀行が元安許容幅を広げたとの見方から人民元が対ドルで大きく下落し、ドル円上昇に波及する場面がみられた。連日、政府高官からの円安けん制発言が続くが、足元材料を並べればドル円は上方向への動きが自然。22年・23年ともに抑えられている151.90台での再度の攻防をみておきたい。

東京	東京時間のドル円は151.63レベルでオープン。朝方発表された2月全国CPIは予想対比やや弱く、市場の反応は限定的。その後は人民元売りから全面的にドル買いが進み、ドル円は一時151.86を付けた。年初来高値を更新し、22年の高値に近づくと介入警戒感からか上値重く、円が買われ戻して151.43レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.43レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局151.44レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.2635レベルでオープン。英2月小売売上高が予想を上回るも、市場への影響は限定的で全体的なドル高の中、1.2576まで下落。結局、1.2584レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台半ばでスタート。本邦2月CPIが予想を下回るも、ドル円は反応薄。その後ドル買い地合いから、151.86まで上昇する場面もあったが、米金利が低下する展開を受け反落し、151.44レベルでNYオープン。オープン直後は、軟調な値動きが続く、151.00まで一段と下落する。その後、米長期金利の低下一服を受け下げ渋り、151.30付近までじりじり戻す。午後は週末を控え値幅が限定的の中、151.40付近を中心とした動意乏しい推移が続く、151.49レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独金利が低下する展開や、ナーゲル・独連銀総裁の「夏前に利下げを開始する確率は高まってきている」との発言が伝わり、じり安での推移が続く、1.0817レベルでNYオープン。午前中は一時1.0832まで小幅反発するも、独金利が低水準で推移する展開が上値を抑え、買い戻しは長く続かず、1.0810付近まで反落する。午後1.08台ちょうど付近で上値重い値動きが続く、1.0809レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・升谷